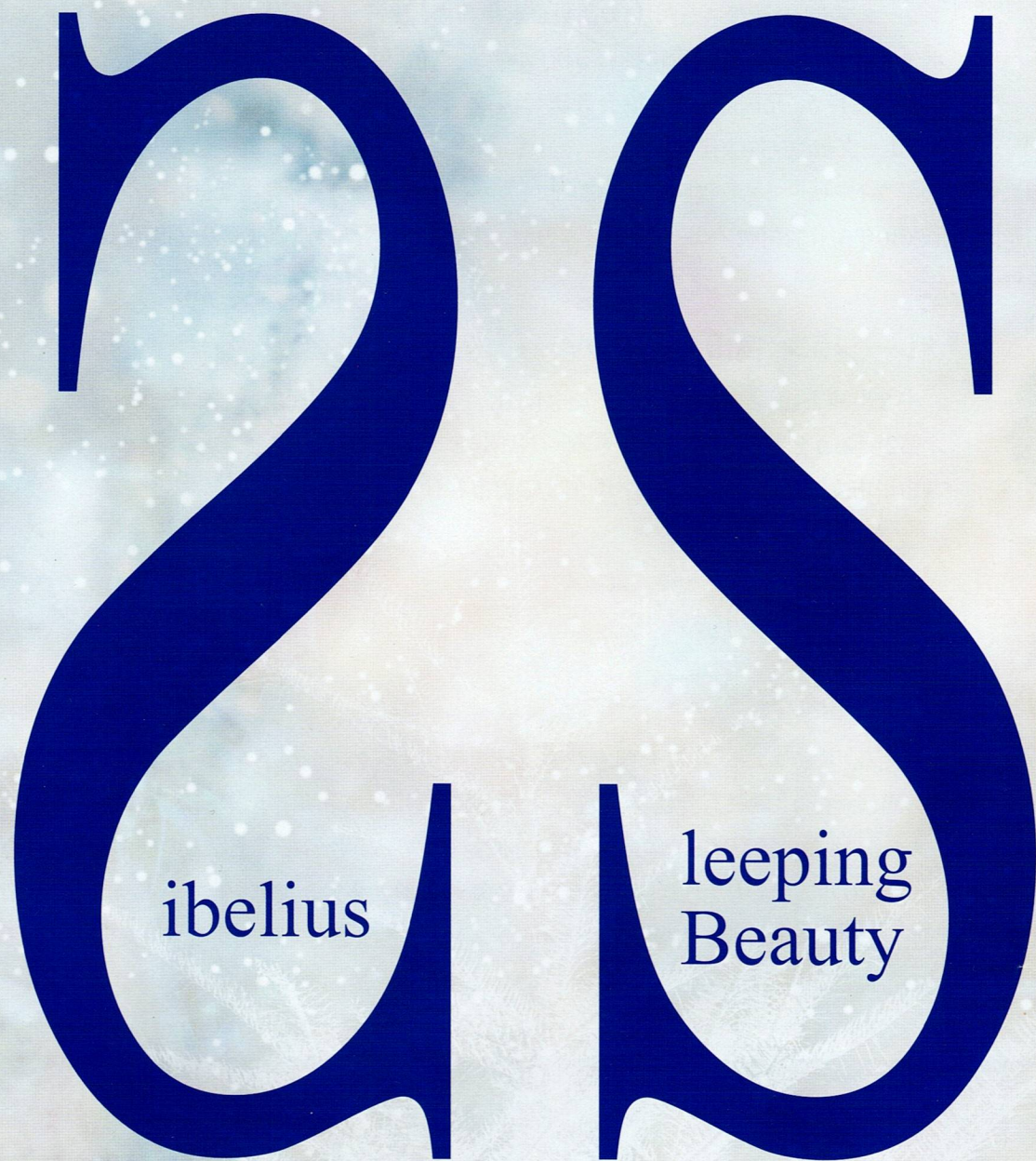


平成26年市川市芸術祭
市川市市制施行80周年



市響

第379回 ファミリー交響楽



ibelius

leeping
Beauty

シベリウス 交響曲第1番 作品39

チャイコフスキー 眠れる森の美女

2014.12.14(日) 午後2時開演

市川市文化会館大ホール (JR総武線・本八幡駅下車)

本日のプログラム

シベリウス／交響曲第1番 作品39
(演奏時間：40分)

❖ 休憩 ❖

チャイコフスキー／眠れる森の美女
(演奏時間：70分)

プロフィール

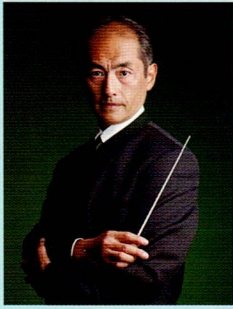


Photo : S.Imura

指揮：世川 望

東京芸術大学附属高校を経て、同大学にてホルンを守山光三教授に師事。卒業後、ミュンヘン音楽大学にてホルンをオットー・シュミッツ教授に、ケルン音楽大学にて指揮をミヒヤエル・ルイク教授に師事。クラシックフィルハーモニー・ボンの団員を永年務め、1997年に帰国。現在は、日本体育大学教授として、スポーツ選手のリズム感教育に携わる傍ら、フリーで演奏活動を行う。野外でのアルプホルン・ほら貝演奏も積極的に行う。元国際ホルン協会評議員、日本ホルン協会常任理事。室内楽アンサンブル「ショコラ・ヴィルトオーゾ・ジャパン」代表。

指揮者としては、専修大学フィルハーモニー管弦楽団、黒門フィルハーモニック・オーケストラを指揮、また地元の市民オーケストラ「市川交響楽団」では、2010年5月にドイツ／ローゼンハイム公演、2011年6月に習志野公演、2012年10月に市響マスターズ公演を指揮する。



ナレーション：高山久美子 (フリーアナウンサー)

主な出演番組 「クラシックカフェ」(NHK-FM) 「NHK 高校講座・国語総合」 「同・古典」(NHK ラジオ第2) 「ろうを生きる・難聴を生きる」(NHK-E テレ) 他。

市川市立鶴指小学校出身で、現在は船橋市在住。

管弦楽：市川交響楽団 (いちかわこうきょうがくだん)

2016年に創立65周年を迎えるアマチュアとしては全国有数の伝統を持つオーケストラ。メンバーは現在100余名で年齢構成は高校生から70代までの幅広い層にわたり、職業も会社員、教員、主婦など多彩。地元市川市での演奏会を中心に全国各地での文化行事やオーケストラ・フェスティバル等にもしばしば招かれ演奏を披露している。著名な音楽家との共演も数多く経験しているほか、特に地元ゆかりの音楽家との共演にも力を注ぎ、地域の音楽芸術の振興に多大な貢献をしている。市川交響楽団は市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、行徳混声合唱団、市響ジュニアオーケストラの各団体とで構成する市川交響楽団協会の中核として「クラシック音楽をより多くの市民に楽しんでもらおう」をモットーに常に積極的な活動を展開している。

本日の出演者

【コンサートミストレス】	早川 貴子	細貝 春	高野 重樹	中村 公一	【コントラバス】
立田 祥子	番場 美帆	溝田 範子	谷口 善樹	野中 能久	池田 和正
【第1ヴァイオリン】	三野 彰久	武藤 敦子	奈良林 弘子	林 恭代	上村 啓介
石崎 俊信	【第2ヴァイオリン】	村上 葉子	星 乗昭	日澤 優	神代 順子
上田 佳津子	角河 友梨	望月 聖仁	若林 繁	平得 裕子	小林 真弓
大橋 一郎	佐分利 幸江	吉岡 一郎	【チェロ】	福原 耕二	高間 友明
大橋 かおる	滝澤 葉子	【ヴィオラ】	安部 博秀	堀合 麻由美	番場 仙嘉
菅原 夕	富田 八江子	内田 綾美	岩田 理人	本澤 麻理	村上 信乃
佐藤 薫	林 美穂	小名 康仁	倉澤 倫子		
秦 一宜	久田 しげ子	鈴木 亜矢子	猿田 諒介		

シベリウス 交響曲第1番 作品39

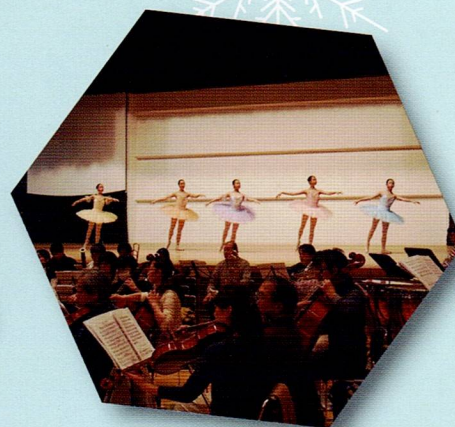
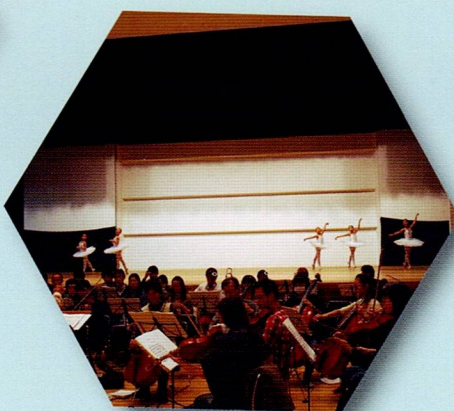
前半にお届けするシベリウスは前回の7番に続き本年2曲目の交響曲で、市響としても学びの多いシーズンとなりました。

シベリウスが生きたフィンランドは、12世紀からスウェーデン領下、19世紀にはロシアの圧制下にありました。その歴史的背景からフィンランドは独立意識が高く、シベリウスは民族的題材にインスピレーションを得た作曲で、国家的英雄とされています。彼のサウンドは北欧の空気の色と、クライマックスでの熱く強い意志を感じさせます。

シベリウスは当時33歳の若さにてすでに、代表作となる「フィンランディア」や「トゥオネラの白鳥」などの傑作交響詩を生み出し、フィンランドの英雄的作曲家としての確固たる地位を築き上げていました。彼の伝記には、ベルリン留学中に聴いたベルリオーズの幻想交響曲に感銘を受け、交響曲の着手を決意させたと書かれています。シベリウスはこの曲を2年ほどで完成し、自身の指揮のによりヘルシンキで初演されました。

クラリネットのモノローグで始まる**第1楽章**の序奏Andante、

ma non troppo に続いて Allegro energicoでは若く血気盛んなシベリウスの強い意志に支えられた絶妙な語り口が感じとれます。**第2楽章** Andante (ma non troppo lento)はフィンランドの雄大で次第に極寒へと変化していく大地を思わせる絵画的な楽章です。**第3楽章** 速い3拍子のScherzo.Allegroは前の楽章とはうって変わってコンテンポラリーな曲です。それと対比するかのよう、ホルンで始まる中間部のトリオは牧歌的です。私たちが日ごろクラシック音楽で良く聴くドイツ的な牧歌サウンドとの違いも聴きどころの一つです。返されるScherzo.Allegroでは通常前半の単なる繰り返しが多いのですが、シベリウスはオーケストレーションを変えています。**第4楽章 Finale** (幻想曲風に)の冒頭Andante では、第1楽章冒頭のクラリネットによるモノローグをヴァイオリン、続いてフルート、オーボエを加えた木管合奏で展開されます。続く不安なのか恐怖なのかのAllegro molto - Andante assaiそして、Allegro molto come primaの朗々と歌われるヴァイオリンの名旋律を経てAndante (ma non troppo)壮大なクライマックスへ続きます。



【フルート】

遊馬 陽子
木村 眞諭紀
佐藤 洋行
番場 ますみ

【オーボエ】

太田 悦子
鶴田 久美子
本間 広樹
二村 直子

【クラリネット】

秋永 直美
井垣 貴嗣
時田 雄
半藤 嗣人
八木 良子

【ファゴット】

井垣 葉子
遠藤 由紀子
菅原 斉
山内 静

【ホルン】

木下 泰斗
近藤 利昭
嶋村 恒夫
武井 綾香
林田 朋子
山内 正晴

【トランペット】

生沼 正博
岡崎 英里
佐藤 泰彦
関 良馬
田崎 真二

【トロンボーン】

齊藤 翼
坂田 圭
吉川 昌憲
【チューバ】
渡邊 鉄雅

【打楽器】

佐藤 美穂子
都筑 裕
時田 裕
和田 英恵
【ハープ】
大木 理恵

チャイコフスキー 眠れる森の美女 (抜粋)

プロローグ「オーロラ姫の洗礼」

悪の妖精カラボスは自分が洗礼に招待されなかったことを怒り、オーロラ姫に「16回目の誕生日に彼女の指を刺して死ぬのだ。」と呪いをかけます。

1 序曲

2 パ・ド・シス アダジオ (6人の妖精)



第1幕「オーロラ姫と4人の求婚者」

オーロラ姫の16歳の誕生日。老婆からバラの花束を受け取ったオーロラ姫は突然ぐったりとして倒れてしまう。

3 パ・ダクシオン 侍女と小姓の踊り (ペイジ)

4 パ・ダクシオン アダジオ (ローズ)

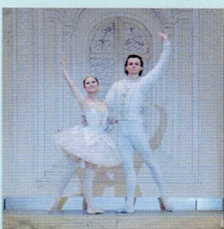
5 ヴァリアシオン (ローズ)

第2幕第1場「デジレ王子の狩」

100年の年月が過ぎ、デジレ王子が狩りをしている前にリラの精が現れ、オーロラ姫の所に導きます。

6 パノラマ

第3幕「デジレ王子とオーロラ姫の結婚式」



オーロラ姫とデジレ王子の結婚式にはおとぎ話の登場人物たちがやってきてお祝いをします。

7 行進曲

8 パ・ド・カトル 序奏 (宝石たち)

9 パ・ド・カトル ヴァリアシオンII (金と銀)

10 パ・ド・カトル ヴァリアシオンIV (ダイヤモンド)

11 パ・ド・カトル コーダ (宝石たち)

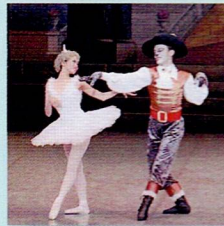
12 パ・ドゥ・ドゥ (青い鳥とフロリナ女王)



13 ヴァリアシオン (フロリナ女王)

14 コーダ (青い鳥とフロリナ女王)

15 パ・ド・カラクテール (猫たち)



16 アントレ〜パ・ドゥ・ドゥ (オーロラ姫とデジレ王子)



17 ヴァリアシオン (オーロラ姫)

18 コーダ (オーロラ姫とデジレ王子)

19 ワルツ (第1幕より)



すみれバレエクラシック

1969年市川市中国分においてスタジオ開設。その後市川市洋舞踊協会に加盟。開設以来45年間に24回の自主公演の他、毎年市川市洋舞踊合同公演に参加している。またその他の舞踊公演、舞踊コンクールなどに多数参加。

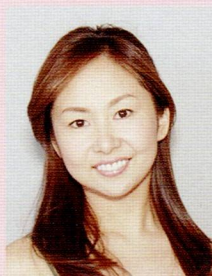
HP <http://www.sumire-ballet.net> E-mail sumire@sumire-ballet.net
市川市中国分2-9-2 Tel 047-373-1002



すみれバレエクラシック主宰 荒木洋子

市川市洋舞踊協会 会長
市川市芸術文化団体協議会常任理事
千葉県芸術舞踊協会 監事

9才より牧由紀バレエ研究所でバレエを始める。その後、泉ユリバレエ研究所、松山樹子バレエ学校を経て、1968年松山樹子バレエ団に入団、1970年小林恭バレエ団に入団。1972年からフリーとなり、東京バレエセンター、亀の会等の公演に参加。1973～1974年ウクライナキエフバレエ団およびバレエ学校の短期研修に参加。1969年以後、「すみれバレエクラシック」を主宰。



振付・指導 荒木さゆり

市川市洋舞踊協会 準会員

1999年ウィーンにバレエ留学。同年ウィーン芸術週間の公演に参加。帰国後、クラシックバレエの振付・指導を開始する。2004年ABC-Tokyo の一員としてオーストリアツアーに参加。2011年より毎年NYにてバレエとFloor-barre の研修を行う。



ゲスト出演 許山麻有 (フリー)

元チャイコフスキー記念東京バレエ団 団員。
古典から現代作品まで様々な舞台に出演し国内・海外ツアーに参加。現在フリー

出演

荒木 さゆり 許山 麻有

戸澤 楓 郡 詩乃 宮澤 七彩 奥平 鈴 齋藤 七菜 横田 揚羽 下山 倅季

瀧川 莉彩 大居 香澄 橘田 花音

